

道徳通信

大田区立馬込第三小学校
道徳部
令和5年9月8日
第2号

夏休みが終わり、2学期が始まりました。1学期に発行した道徳通信では、道徳科は、行動の変化を求めるのではなく、内面を耕すことを大切にしていることをお伝えしました。今後は、実際の道徳科の授業についてお知らせする予定です。

道徳科では、その学年で学習する内容が決められています。低学年は19項目、中学年は20項目、高学年は22項目です。

善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	個性の伸長	節度、節制	希望と勇氣、努力と強い意志	真理の探究	親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	規則の尊重	公正、公平、社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	国際理解、国際親善	生命の尊さ	自然愛護	感動、畏敬の念	よりよく生きる喜び
低学年の内容		低学年の内容		低学年の内容																	
中学年の内容		中学年の内容																			
高学年の内容																					

道徳科では、これらの項目を年間を通して、計画的に授業に取り入れています。

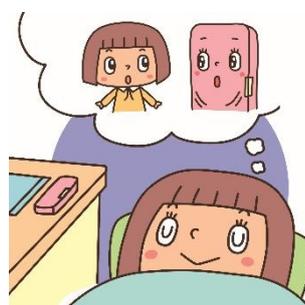
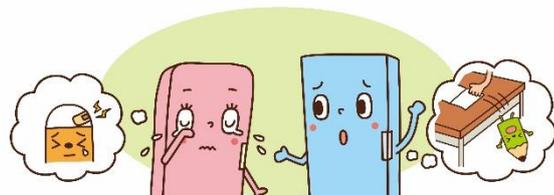
1年生の授業の様子

1年生の教材は、物や動物などが登場人物の場合があります。「節度、節制」の授業では持ち物を大切に使うことについて学習しました。教材の中では「ふでばこ」が登場します。簡単にあらすじを紹介します。

教材名「みなちゃんのふでばこ」1年

あらすじ

みなちゃんは新しいふでばこを1年生のお祝いに買ってもらいました。新品でピンク色です。しかし、ふでばこの中にはいるはずのえんぴつは迷子になって、泣いています。消しゴムには頭に穴があいています。「えんぴつさんが見つからない」「消しゴムの頭に穴があいて痛い」など、いろいろな話をしています。みなちゃんのふでばこは、えんぴつや消しゴムのことが心配になり、みなちゃんの夢の中でみなちゃんにお話をします。



裏面へ

みなちゃんの夢の中で、みなちゃんとふでばこは、どのようなことを話しているのでしょうか。教師がふでばこ役、1年生の児童はみなちゃん役を行い、役割演技を通して、どのような話をしているのかを考えました。

【役割演技①】

教師（ふでばこ役）	みなちゃん、えんぴつさんや消しゴムさんが、泣いてるよ。
児童（みなちゃん役）	ごめんね。
教師（ふでばこ役）	えんぴつさん、迷子になっちゃったね。
児童（みなちゃん役）	明日、探すね
教師（ふでばこ役）	探したら、きっと見つかるね。見つかるといいね。
児童（みなちゃん役）	そうだね



鉛筆を探して、見つけようという思いが伝わってきます。別の児童もみなちゃん役に挑戦しました。

【役割演技②】

教師（ふでばこ役）	えんぴつさんが戻って来られないから、悲しいな。
児童（みなちゃん役）	新しいのを買ってあげる。
教師（ふでばこ役）	新しいえんぴつさんを買ってもらえば、困らないね。でも、迷子のえんぴつさんは、どうなるのかな。ずっと見つからなくて、どこかで泣いているかもしれないよ
児童（みなちゃん役）	（少し考える）他の人と探すね。
教師（ふでばこ役）	他の人と探せば、見つかるかな。
児童（みなちゃん役）	見つかるよ。

一人で探して見つからない場合でも、他の人と一緒に探すと見つかることもあるでしょう。自分の体験から、このように考えられたのだと思います。

【役割演技③】

教師（ふでばこ役）	消しゴムさんの頭に穴があいていて、痛そうだよ。
児童（みなちゃん役）	ごめんね。
教師（ふでばこ役）	消しゴムさん、困っているだろうな。
児童（みなちゃん役）	直して使うよ。
教師（ふでばこ役）	そうか。直せば、また、使えるね。
児童（みなちゃん役）	うん。



物が壊れてしまっても、直して使うことができますね。もしかしたら、自分の体験から、直して使っている物があるのかもしれない。

このように、道徳科の授業の中で、児童が考えていることは、児童自身の体験が基になっています。児童一人一人が自分自身と向き合って考える時間が道徳科です。道徳科の授業の中では、発言にその子らしさが表れます。このような授業を年間35時間（1年生は34時間）行い、内面を耕すことを大切にしています。